



## ■合併から4年 福祉施設の基盤整備進む

### 明科北保育園の工事スタート

明科東川手にある明科北保育園改築工事の起工式を7月17日、現地で行いました。昭和49年に建てられた旧園舎は老朽化が進んでおり、昨年12月から仮園舎の設置などを進めていました。

新園舎は、床面積が9,86.45平方メートル、年代別の保育室を1クラスずつと、新たに延長保育室、子育て相談室を設けます。また、太陽熱を取り込み、室内を暖める仕組みを備えています。完成は来年2月。現在、仮園舎で過ごしている年長の園児も1カ月ほど生活できるように計画しています。総事業費は約4億7,300万円。市誕生後、4番目の園舎建設となります。



「新しい園舎でのびのびと育てほしい」とあいさつする平林市長



明科北保育園の完成イメージ

### 明科就労センターが完成

昨年12月に着手した明科社会就労センターの建て替え工事がこのほど完了し、7月30日に現地でしゅん工式を行いました。

式には約65人が出席。関係者によるテープカットに続き、平林市長が「新市誕生以降、教育・福祉の環境整備を優先的に進めてきました。厳しい経済情勢ですが、明るく、楽しい職場であってほしい」とあいさつしました。

社会就労センターは、社会的な生活弱者が、職業訓練も含めて働き、社会参加を実現している社会福祉施設です。市内にはこの施設が4つあり、明科社会就労センターは最も老朽化が進んでいました。



しゅん工式の後には、施設と作業の見学会が行われた。



関係者によるテープカット

## ■農業委員会の3役が決定



会長 板花 守夫



会長代理 下里 宏



副会長 曾根原 昭成

任期満了に伴う安曇野市農業委員会委員一般選挙が6月28日に告示され、5選挙区で定数を超える立候補者がなく、40人が無投票当選しました。改選後の初総会となる安曇野市農業委員会臨時総会が7月22

日に開かれ、会長・会長代理・副会長の3役が左記のとおり決まりました。任期は平成24年7月19日までです。(敬称略)  
○会長 板花 守夫  
○会長代理 下里 宏  
○副会長 曾根原 昭成

## ■信州大学への委託調査発表会

市と連携協定を結ぶ信州大学人文学部への委託調査の発表会が7月9日、穂高総合支所で開かれました。この日は、「景観問題と安曇野景観研究」と題して信州大学人文学部村山研一教授に、また、「安曇野市の地域と景観に関する調査」と題して昨年まで信大に在籍した関西学

院大学社会学部部の渡邊勉教授がそれぞれ調査結果を発表しました。村山教授は、市の景観の課題として、「市民が良好な景観というものをどのように定義し、また、住民合意をどのように得ていくかが一番難しい問題」と話し、渡邊教授からは、調査報



景観調査の結果などを報告

## ■岡谷・大丸共同企業体、富士開発(株)、(株)武井組が優良建設工事表彰を受賞

より良い公共工事を行うために、土木・建築関係企業の技術者と市役所関係課の技術系職員による公共事業技術者研修会を7月16日(木)、穂高会館で開催しました。

この研修会に先立ち、平成20

年度の公共工事の優良建設工事表彰を実施し、岡谷・大丸特定建設工事共同企業体、富士開発(株)、(株)武井組がそれぞれ受賞しました。3社を代表し謝辞を述べた(株)武井組の酒井

義人副社長は「湧水対策などで、地域の人と打ち合わせを細かくできたことが安全対策につながり、評価につながったと思います。かわった社員の労をねぎらいたいです」と受賞の喜びを話しました。



表彰式の様子